

平成17年度 共通教育履修案内 〔2年次以上の学生用〕

この履修案内は、共通教育授業時間割及び2年次以上の学生の共通教育の履修上の注意事項等についてお知らせするものです。学生のみなさんは、各学部の履修の手引き及び入学時に配付した共通教育履修案内または共通教育履修の手引により、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照にして、履修計画をたててください。

なお、学生のみなさんは、この履修案内を紛失等しないように、留意してください。

山口大学大学教育センター

平成16年度入学者について

1. 平成16年度入学者への留意事項

(1) 平成16年度入学者の履修について

各学部の履修の手引き及び入学時に配付された共通教育履修案内により、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

(2) コースカリキュラム・マトリックス表の変更について

学生の所属する学部によっては、各学部の履修の手引きに記載されているコースカリキュラム・マトリックス表に変更がある場合があります。原則として、コースカリキュラム・マトリックス表については、常に最新のものを適用していきます。詳細につきましては、所属する学部の教務担当係の指示に従って、履修してください。

(3) 平成16年度入学者への読替表とは

平成16年度入学者への読替表とは、新設の授業科目の単位を修得することにより、それぞれの入学年度のどの授業科目の単位に読み替えられるか、一覧表にしているものです。

学生のみなさんは、自分の単位修得状況と12ページのそれぞれの入学年度の入学者への読替表を照らし合わせながら、共通教育の不足単位を修得していきます。

(4) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがありますが、このクラス指定とは、平成17年度入学者の履修要件に基づき指定されていますので、クラス指定によらず履修することができます(『TOEIC準備』を除く)。

2. 英語の不足単位を補う場合の留意事項

(1) 英語のカリキュラムの変更について

平成16年度から、授業科目の新設及び廃止や『TOEIC指導』の認定基準の変更等により、英語のカリキュラムを一部変更しています。ただし、平成16年度入学者については、入学時の英語の履修方法に準じて、単位を修得してください。

なお、平成17年度から新設された<表1>の授業科目については、平成16年度入学者が、単位を修得したとしても、卒業に必要な単位として算入されませんので、特に留意してください。

<表1> 卒業に必要な単位に算入されない平成17年度新設の授業科目

分野	授業科目	設置	科目類型	単位数
英語	英語基礎文法	共通	展開2	2

また、平成16年度入学者適用の<表2>の授業科目については、平成17年度以降にあっては、開講クラス数が次第に減少していきますので、早めに単位を修得してください。

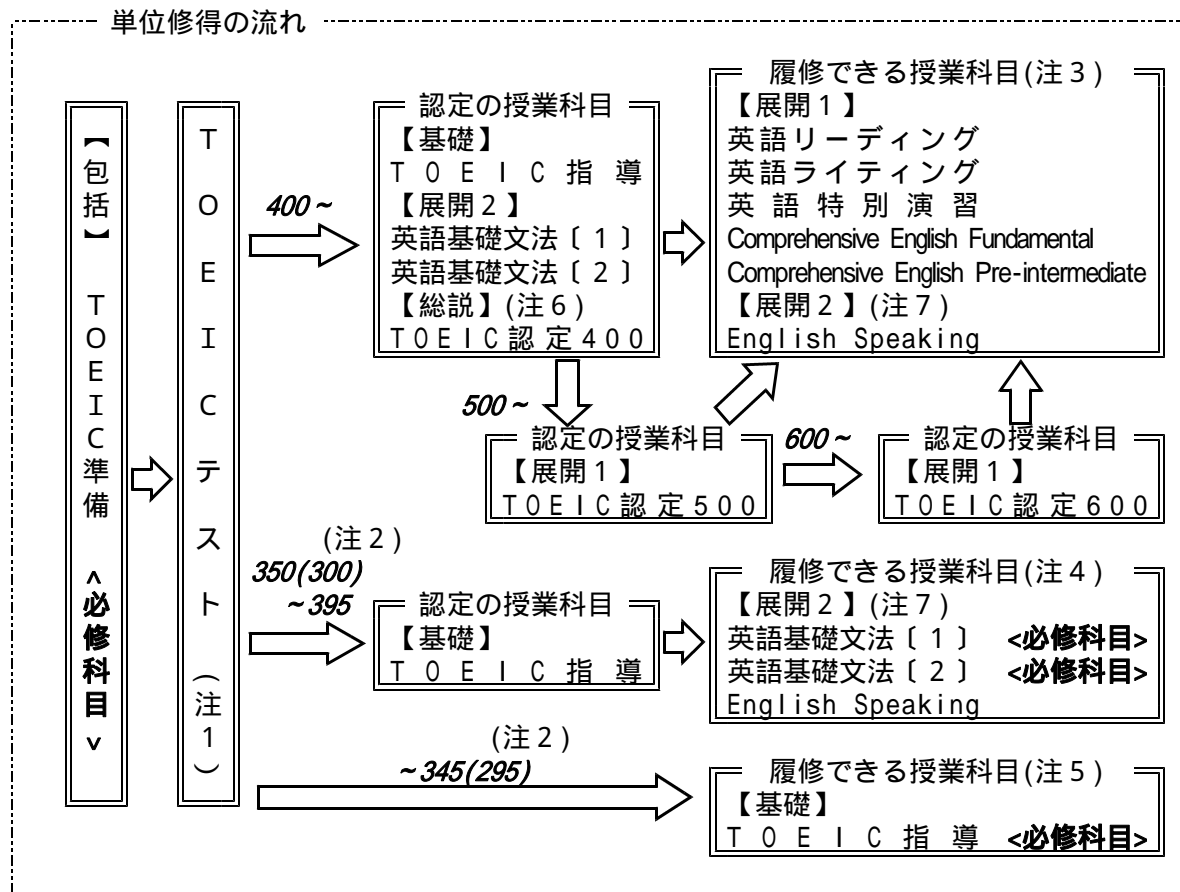
<表2> 平成17年度以降、開講クラス数が減少していく授業科目

分野	授業科目	設置	科目類型	単位数
英語	英語基礎文法〔1〕	共通	展開2	1
	英語基礎文法〔2〕	共通	展開2	1

(2) 単位修得の流れ

英語のカリキュラムにおける単位修得の流れについては、以下のとおりです。

まず、学生のみなさんは、TOEICテストに向けての準備を行いますので、前期クォーター1において、指定されたクラスの『TOEIC準備』を履修し、受験を義務つけられている6月上旬のTOEICテストを受験してください。『TOEIC準備』(必修科目)の単位については、TOEICスコアとは関係なく、授業態度と課題の成果に基づき評価し、単位を授与します。



(注1) TOEICテストについては、6月上旬及び8月上旬に実施されます。後期については、経済学部TOEIC実行委員会実施のTOEICテストを受験してください。日程及び受験手続については、掲示等により指示します。

なお、TOEICテストの受験料については、学生の自己負担となっています。

(注2) 『TOEIC指導』の認定基準については、所属する学部及び学科等により異なりますので、3ページの(3)『TOEIC指導』の認定基準を参照してください。

(注3) TOEICのスコアが400点に到達した学生については、展開1及び展開2の授業科目を履修できますが、展開1の授業科目から選択して、履修することが望ましいです。

(注4) 『英語基礎文法〔1)』または『英語基礎文法〔2)』を履修中の学生であって、TOEICテストを受験し、TOEICのスコアが400点に到達した学生については、学務課共通教育係に『TOEICによる共通教育単位認定申請書』を提出することにより、『英語基礎文法〔1)』及び『英語基礎文法〔2)』の単位を認定します。

(注5) TOEICのスコアが350(300)点未満の学生については、『TOEIC指導』の認定基準に到達するまで、『TOEIC指導』を繰り返し履修しないとけません。

(注6) 『TOEIC認定400』については、経済学部及び医学部にあっては、必修科目となっていますので、400点に到達できるように、学習に励んでください。

(注7) 医学部医学科にあっては、展開2の必修科目として、『医学英語1』及び『医学英語2』を開設しています。

(3) 『TOEIC指導』の認定基準について

『TOEIC指導』の認定基準については、以下のとおりです。『TOEIC指導』については、**必修科目**です。したがって、TOEICテストにおいて、以下の認定基準スコアに到達しなければ、卒業することはできません。

学 部 等		認定基準スコア	備 考
人 文 学 部		350点	
教 育 学 部		300点	
経 済 学 部		350点	卒業に必要なTOEICスコア：400点
理 学 部	数 理 科 学 科	300点	
	自 然 情 報 科 学 科	300点	
	化 学 ・ 地 球 科 学 科	350点	
医 学 部		350点	卒業に必要なTOEICスコア：400点
工 学 部	昼 間 コ ー ス	350点	
	夜 間 主 コ ー ス	300点	
農 学 部	生 物 資 源 環 境 科 学 科	300点	
	生 物 機 能 科 学 科	350点	
	獣 医 学 科	350点	

(4) 『TOEIC指導』の対象学生について

『TOEIC指導』については、『TOEIC指導A』及び『TOEIC指導B』の2種類の講義を開設しています。『TOEIC指導A』については、『TOEIC指導』の認定基準が350点の学部等に所属する学生を対象としています。また、『TOEIC指導B』については、『TOEIC指導』の認定基準が300点の学部等に所属する学生を対象としています。

(5) 『TOEIC指導』の履修について

『TOEIC指導』の履修については、各クォーター開始直前のTOEICテストのスコアに基づいて、必ず履修してください。履修するクラスについては、学務課共通教育係において、各クォーター開始までに、受講登録してください。

なお、前期または後期クォーター2の『TOEIC指導』については、前期または後期の学期の始めに提出する履修届に記入する必要はありません。また、当該の単位数については、履修科目の登録の上限単位数に含まれません。

(6) TOEICによる単位認定の取り扱いについて

TOEICによる単位認定を申請する学生については、TOEICのスコアシートを学務課共通教育係に持参し、『TOEICによる共通教育単位認定申請書』を記入して、申請してください。TOEICのスコアにより、(7) TOEICスコア別の認定授業科目のとおり認定されます。

なお、単位認定された授業科目の単位については、申請した学期の単位として認定されます。したがって、展開1及び展開2の授業科目については、申請した学期の翌学期から履修することができます。

(7) TOEICスコア別の認定授業科目

TOEICのスコア別の認定授業科目については、以下のとおりです。ただし、単位認定申請の際に『TOEIC指導』を履修している場合には、『TOEIC指導』の単位については、単位認定によらず、それぞれの担当教員が成績評価を行います。

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単位数	認 定 条 件 ス コ ア
英語	TOEIC指導	共通	基礎	1	350(300)以上
	英語基礎文法〔1〕	共通	基礎	1	400以上
	英語基礎文法〔2〕	共通	基礎	1	400以上
	TOEIC認定400	共通	総説	0	400以上
	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2	500以上
	TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2	600以上

(8) TOEFLの換算について

TOEFLを受験した学生については、TOEFLのスコアシートを添付し申請することにより、TOEICのスコアに換算して、以下の授業科目の単位を認定することができます。詳細については、学務課 共通教育係にお問い合わせください。

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単位数	認 定 条 件 ス コ ア	
					T O E F L	C B T
英語	TOEIC認定400	共通	総説	0	4 3 5	1 2 0
	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2	4 5 0	1 3 0
	TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2	5 0 0	1 7 3

・平成14～15年度入学者について

1. 平成14～15年度入学者への留意事項

(1) 平成14～15年度入学者の履修について

各学部の履修の手引き及び入学時に配付された共通教育履修案内により、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

(2) コースカリキュラム・マトリックス表の変更について

学生の所属する学部によっては、各学部の履修の手引きに記載されているコースカリキュラム・マトリックス表に変更がある場合があります。原則として、コースカリキュラム・マトリックス表については、常に最新のものを用いていきます。詳細につきましては、所属する学部の教務担当係の指示に従って、履修してください。

(3) 平成14～15年度入学者への読替表とは

平成14～15年度入学者への読替表とは、新設の授業科目の単位を修得することにより、それぞれの入学年度のどの授業科目の単位に読み替えられるか、一覧表にしているものです。

学生のみなさんは、自分の単位修得状況と12ページのそれぞれの入学年度の入学者への読替表を照らし合わせながら、共通教育の不足単位を修得していきます。

(4) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがありますが、このクラス指定とは、平成17年度入学者の履修要件に基づき指定されていますので、クラス指定によらず履修することができます(『TOEIC準備』を除く)。

2. 英語の不足単位を補う場合の留意事項

(1) 英語のカリキュラムの変更について

平成16年度から、授業科目の新設及び廃止や『TOEIC指導』の認定基準の変更等により、英語のカリキュラムを一部変更しています。ただし、平成14～15年度入学者については、入学時の英語の履修方法に準じて、単位を修得してください。

なお、平成16年度以降に新設された<表1>の授業科目については、平成14～15年度入学者が、単位を修得したとしても、卒業に必要な単位として算入されませんので、特に留意してください。

<表1> 卒業に必要な単位に算入されない平成16年度以降新設の授業科目

分野	授業科目	設置	科目類型	単位数
英語	英語基礎文法	共通	展開2	2
	英語基礎文法〔1〕	共通	展開2	1
	英語基礎文法〔2〕	共通	展開2	1
	English Speaking	共通	展開2	2
	Comprehensive English Fundamental	共通	展開1	2
	Comprehensive English Pre-intermediate	共通	展開1	2

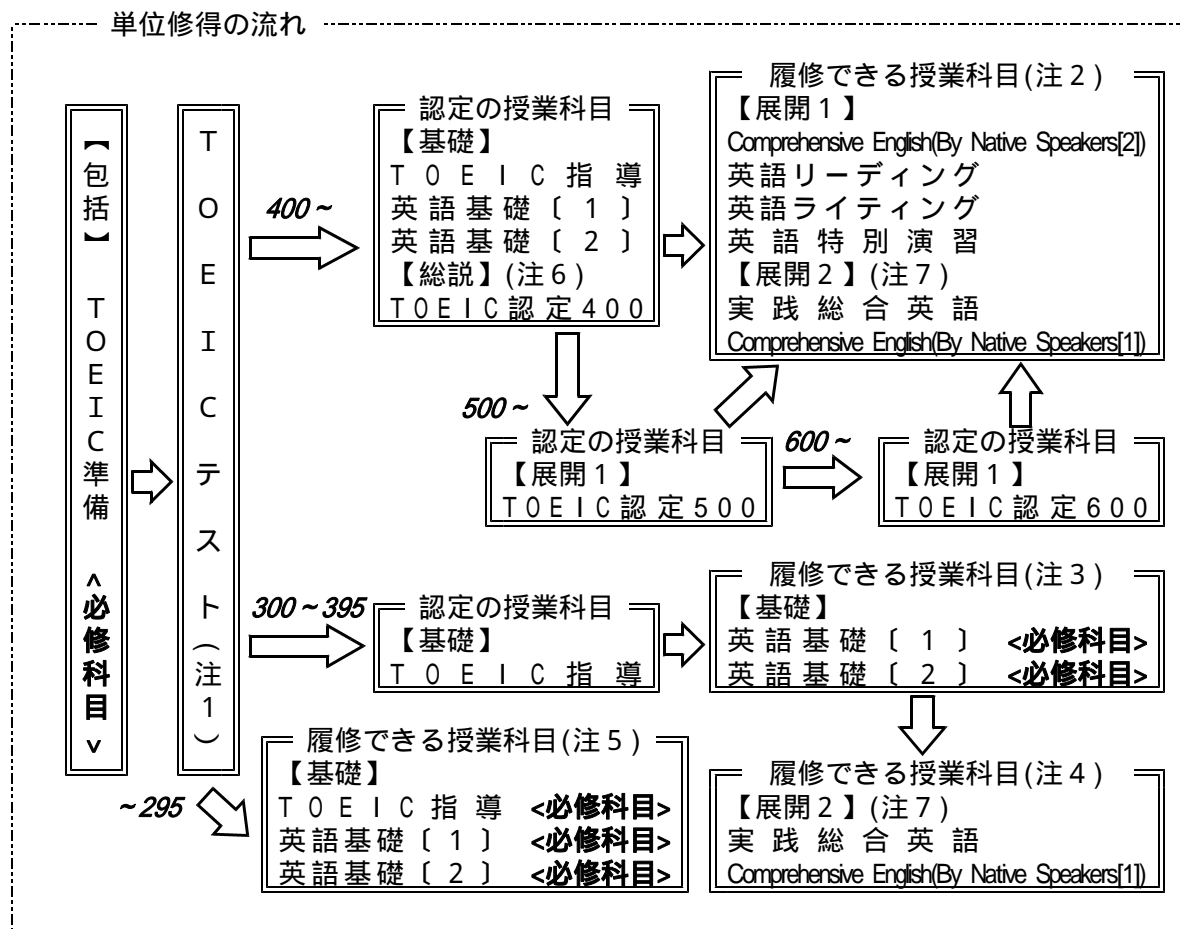
また、平成14～15年度入学者適用の<表2>の授業科目については、平成17年度以降にあつては、開講クラス数が次第に減少していきますので、早めに単位を修得してください。

<表2> 平成17年度以降、開講クラス数が減少していく授業科目

分野	授業科目	設置	科目類型	単位数
英語	英語基礎〔1〕	共通	基礎	1
	英語基礎〔2〕	共通	基礎	1
	実践総合英語	共通	展開2	2
	Comprehensive English(By Native Speakers[1])	共通	展開2	2
	Comprehensive English(By Native Speakers[2])	共通	展開1	2

(2) 単位修得の流れ

英語のカリキュラムにおける単位修得の流れについては、入学時の英語の履修方法に準じて、単位を修得してください。詳細については、以下のとおりです。



(注1) TOEICテストについては、6月上旬及び8月上旬に実施されます。後期については、経済学部TOEIC実行委員会実施のTOEICテストを受験してください。日程及び受験手続については、掲示等により指示します。

なお、TOEICテストの受験料については、学生の自己負担となっています。

(注2) TOEICのスコアが400点に到達した学生については、展開1及び展開2の授業科目を履修できますが、展開1の授業科目から選択して履修することが望ましいです。

(注3) 『英語基礎〔1〕』または『英語基礎〔2〕』を履修中の学生であって、TOEICテストを受験し、TOEICのスコアが400点に到達した学生については、学務課共通教育係に『**TOEICによる共通教育単位認定申請書**』を提出することにより、『英語基礎〔1〕』及び『英語基礎〔2〕』の単位を認定します。

(注4) TOEICのスコアが300点以上400点未満の学生であって、『英語基礎〔1〕』及び『英語基礎〔2〕』の単位を修得した学生については、展開2の授業科目を履修することができます。

(注5) TOEICのスコアが300点未満の学生については、『TOEIC指導』を繰り返し履修しないといけません。また、『英語基礎〔1〕』及び『英語基礎〔2〕』については、『TOEIC指導』と並行して履修することができます。

(注6) 『TOEIC認定400』については、**経済学部(平成14年度入学者を除く)**及び**医学部**にあつては、**必修科目**となっていますので、400点に到達できるように、学習に励んでください。

(注7) 経済学部にあつては、展開2の必修科目として、『経済英語1』及び『経済英語2』を開設しています。また、医学部医学科にあつては、展開2の必修科目として、『医学英語1』及び『医学英語2』を開設しています。

(3) 『TOEIC指導』の対象学生について

『TOEIC指導』については、平成16年度以降入学者の認定基準に基づき、『TOEIC指導A』及び『TOEIC指導B』の2種類の開設科目を開講されていますが、平成14～15年度入学者については、必ず、『TOEIC指導B』を履修してください。

(4) 『TOEIC指導』の履修について

『TOEIC指導』の履修については、各クォーター開始直前のTOEICテストのスコアに基づいて、必ず履修してください。履修するクラスについては、学務課共通教育係において、各クォーター開始までに、受講登録してください。

なお、前期または後期クォーター2の『TOEIC指導』については、前期または後期の学期の始めに提出する履修届に記入する必要はありません。また、当該の単位数については、履修科目の登録の上限単位数に含まれません。

(5) TOEICによる単位認定の取り扱いについて

TOEICによる単位認定を申請する学生については、TOEICのスコアシートを学務課共通教育係に持参し、『TOEICによる共通教育単位認定申請書』を記入して、申請してください。TOEICのスコアにより、(6) TOEICスコア別の認定授業科目のとおり認定されます。

なお、単位認定された授業科目の単位については、申請した学期の単位として認定されます。したがって、展開1及び展開2の授業科目については、申請した学期の翌学期から履修することができます。

(6) TOEICスコア別の認定授業科目

TOEICのスコア別の認定授業科目については、以下のとおり、それぞれの入学年度における単位認定基準と変更がありません。ただし、単位認定申請の際に『TOEIC指導』を履修している場合には、『TOEIC指導』の単位については、単位認定によらず、それぞれの担当教員が成績評価を行います。

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単位数	認 定 条 件 ス コ ア
英語	TOEIC指導	共通	基礎	1	300以上
	英語基礎〔1〕	共通	基礎	1	400以上
	英語基礎〔2〕	共通	基礎	1	400以上
	TOEIC認定400	共通	総説	0	400以上
	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2	500以上
	TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2	600以上

(7) TOEFLの換算について

TOEFLを受験した学生については、TOEFLのスコアシートを添付し申請することにより、TOEICのスコアに換算して、以下の授業科目の単位を認定することができます。詳細については、学務課共通教育係に問い合わせてください。

分野	授 業 科 目	設 置	科目類型	単位数	認 定 条 件 ス コ ア	
					TOEFL	CBT
英語	TOEIC認定400	共通	総説	0	435	120
	TOEIC認定500(TOEFL450)	共通	展開1	2	450	130
	TOEIC認定600(TOEFL500)	共通	展開1	2	500	173

・旧課程の学生(平成13年度以前入学者)について

1. 旧課程の学生(平成13年度以前入学者)への留意事項

(1) 旧課程の学生の履修について

各学部の履修の手引き及び入学時に配付された共通教育履修の手引きにより、共通教育の履修要件等を確認し、この履修案内と共通教育シラバスを参照して、履修計画をたててください。

(2) 旧課程への読替表とは

旧課程への読替表とは、新課程の授業科目の単位を修得することによって、旧課程のどの分野のどの授業科目の単位として読み替えられるか、一覧表にしているものです。

旧課程の学生のみなさんは、自分の単位修得状況と13ページ～15ページの旧課程への読替表を照らし合わせながら、共通教育の不足単位を修得していきます。

(3) クラス指定について

授業科目によっては、学部及び出席番号(学籍番号の7桁から9桁の数)によりクラス指定されているものがあります。このクラス指定とは、平成17年度入学者の履修要件に基づき指定されていますので、旧課程への読み替えに対応する授業科目については、クラス指定によらず履修することができます(『TOEIC準備』を除く)。

2. 英語の不足単位を補う場合の留意事項

(1) 『教養英語』の不足単位の補いについて

吉田キャンパス及び常盤キャンパスにおいて、『**教養英語(再)**』を開設します。この授業科目の単位を修得することにより、過去の年次の前期または後期のいずれかの『教養英語』の不足単位を補うことができます。『**教養英語(再)**』については、同一期において、2クラス以上履修することができます。

(2) 『基礎英語』の不足単位の補いについて

吉田キャンパス及び常盤キャンパスにおいて、『**基礎英語(再)**』を開設します。この授業科目の単位を修得することにより、過去の年次の前期または後期のいずれかの『基礎英語』の不足単位を補うことができます。『**基礎英語(再)**』については、同一期において、2クラス以上履修することができます。

(3) 新課程の履修による英語の不足単位の補いについて

旧課程の学生であっても、TOEICに準拠した新課程の英語のカリキュラムを履修して、『基礎英語』の不足単位を補うことができます。新課程の英語のカリキュラムの履修により英語の不足単位を補う場合には、平成14～15年度入学者の英語の履修方法に準じて、単位を修得していきますので、5ページ～7ページの**2. 英語の不足単位を補う場合の留意事項**を参照し、履修してください。単位修得方法等については、6ページの**(2) 単位修得の流れ**を参照してください。

なお、新課程と旧課程との間には、単位数の換算方法が異なりますので、授業科目ごとに読み替え関係を指定していません。不足単位数については、**旧課程の不足単位数を新課程の単位数により充足することによって、補うことができます。ただし、不足単位として補うことができる単位数については、英語の不足単位を上限とします。**

(4) 『TOEIC指導』の対象学生について

『TOEIC指導』については、平成16年度以降入学者の認定基準に基づき、『TOEIC指導A』及び『TOEIC指導B』の2種類の開設科目を開講されていますが、旧課程の学生については、必ず、『**TOEIC指導B**』を履修してください。

(5) 『TOEIC指導』の履修について

『TOEIC指導』の履修については、各クォーター開始直前のTOEICテストのスコアに基づいて、必ず履修してください。履修するクラスについては、学務課共通教育係において、各クォーター開始までに、受講登録してください。

なお、前期または後期クォーター2の『TOEIC指導』については、前期または後期の学期の始めに提出する履修届に記入する必要はありません。また、当該の単位数については、履修科目の登録の上限単位数に含まれません。

(6) 単位認定の取り扱いについて

TOEICによる単位認定を申請する学生については、TOEICのスコアシートを持参して、**学務課共通教育係**にある『TOEICによる共通教育単位認定申請書』を記入し、**学務課共通教育係**に申請してください。

1回のTOEICスコアによって、複数回にわたり単位認定の申請を行うことができません。また、TOEICテストを複数回にわたり受験したとしても、TOEICスコアが同一の認定条件スコアにあっては、1回分しか単位認定されません。

なお、単位認定された授業科目の単位については、申請した学期の単位として認定されます。したがって、展開1及び展開2の授業科目については、申請した学期の翌学期から履修することができます。

(7) TOEIC等スコア別の認定授業科目

TOEIC等のスコア別の『基礎英語』の認定単位数については、以下のとおりです。また、TOEICのスコアが500点に到達した学生については、『基礎英語』の認定単位数の一部を『教養英語』の認定単位数に振り替えることができます。

なお、単位認定申請の際に『TOEIC指導』を履修中の学生であって、TOEICのスコアが300点に到達した学生については、単位認定申請によらず、それぞれの担当教員が成績評価を行います。

認定条件スコア			『基礎英語』 認定単位数	備 考
TOEIC	TOEFL	CBT		
300	-	-	1単位	
400	435	120	3単位	
500	450	130	5単位	『教養英語』2単位に振り替え可能
600	500	173	7単位	『教養英語』4単位に振り替え可能

(8) 不足単位数別の履修方法等

不足単位数別の履修方法等について、以下のとおり一例を挙げておきますので、履修方法を参照してください。また、以下の履修方法を組み合わせ、単位を修得することもできます。

授業科目	不足単位数	履 修 方 法 等
教 養 英 語	2単位	(1) 『教養英語(再)』により2単位修得 (2) TOEICのスコア500点到達により2単位認定
	4単位	(1) 『教養英語(再)』により4単位修得(2クラス履修) (2) TOEICのスコア600点到達により4単位認定
基 礎 英 語	1単位	(1) 『英語基礎(再)』により1単位修得 (2) 『TOEIC準備』により1単位修得 (3) 『英語基礎〔1〕』及び『英語基礎〔2〕』により1単位修得 TOEICテストの受験者：一方の授業科目の履修により1単位修得 TOEICテストの未受験者：両方の授業科目の履修により1単位修得 (4) TOEICのスコア300点到達(『TOEIC指導』)により1単位認定(修得)
		2単位
	3単位	(1) TOEICのスコア400点到達により3単位認定

3. 初習外国語の不足単位を補う場合の留意事項

(1) 不足単位を補う場合の単位数等

初習外国語の不足単位を補う場合の単位数については、入学年度に規定された授業科目の単位数を適用します。新課程と旧課程との間には、単位数の換算方法が異なりますので、留意してください。

(2) 教養ドイツ語・教養フランス語・教養中国語・教養ハンガルの不足単位を補う場合の留意事項

『教養ドイツ語』については、新課程の『ドイツ語中級1』または『ドイツ語中級2』、『教養フランス語』については、新課程の『フランス語中級1』または『フランス語中級2』、『教養中国語』については、新課程の『中国語中級1』または『中国語中級2』、『教養ハングル』については、新課程の『ハングル中級1』または『ハングル中級2』の単位を修得することにより、前期または後期の区分に関係なく、過去の年次の不足単位を補うことができます。

なお、常盤キャンパスにおいては、『教養ドイツ語』を開設していますので、当該授業科目を履修し、不足単位を補うことができます。ただし、『教養フランス語』、『教養中国語』及び『教養ハングル』の不足単位を補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

(3) ドイツ語の不足単位を補う場合の留意事項

『ドイツ語』または『ドイツ語』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『ドイツ語入門1』または『ドイツ語入門2』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『ドイツ語入門2』により補うことができます。

『ドイツ語』または『ドイツ語』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『ドイツ語会話1』または『ドイツ語会話2』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『ドイツ語会話2』により補うことができます。

速修クラスとして開設されていた『ドイツ語 +』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『ドイツ語入門1』と『ドイツ語会話1』または『ドイツ語入門2』と『ドイツ語会話2』を併せて修得することにより補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『ドイツ語入門2』と『ドイツ語会話2』を併せて修得することにより補うことができます。

なお、小串キャンパスにおいては、ドイツ語の開講を予定していません。ドイツ語の不足単位を補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

(4) フランス語の不足単位を補う場合の留意事項

『フランス語』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『フランス語入門1』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『フランス語入門2』により補うことができます。

『フランス語』または『フランス語』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『フランス語会話1』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『フランス語会話2』により補うことができます。

なお、常盤キャンパス及び小串キャンパスにおいては、フランス語の開講を予定していません。フランス語の不足単位を補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

(5) 中国語の不足単位を補う場合の留意事項

『中国語初級会話』、『中国語初級読本』、『中国語初級総合』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『中国語入門1』または『中国語入門2』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『中国語入門2』により補うことができます。

なお、小串キャンパスにおいては、中国語の開講を予定していません。フランス語の不足単位を補う場合には、常盤キャンパスにて履修してください。

(6) ハングルの不足単位を補う場合の留意事項

『ハングル』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『ハングル入門1』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『ハングル入門2』により補うことができます。

『ハングル』の不足単位を補う場合には、過去の年次の前期の不足単位については、新課程の『ハングル初級会話1』により補うことができます。また、過去の年次の後期の不足単位については、『ハングル初級会話2』により補うことができます。

なお、常盤キャンパス及び小串キャンパスにおいては、ハングルの開講を予定していません。ハングルの不足単位を補う場合には、吉田キャンパスにて履修してください。

クラス表記について

全学部		全	経	全学科・課程	経	
人文学部	全学科	人	学部	経済・経営・国際経済学科	経	
	人文社会学科	人社		経済法学科	経	
	言語文化学科	言語		商業教員養成課程	商教	
教育学部	全課程	教	理学部	全学科	理	
	学校教育 教員養成 課程	全コース		学教	数理科学科	数理
		教科教育コース()		学教(教科)	自然情報科学科	自然
		幼児教育コース		学教(幼児)	化学・地球科学科	化地
		障害児教育コース		学教(障害)	医学部	全学科
		国際理解教育コース	学教(国理)	医学科		医学
	実践臨床 教育課程	全コース	実践	保健学科看護学専攻		看護
		人間教育学コース	実践(人間)	保健学科検査技術科学専攻		検査
		教育心理学コース	実践(心理)	工学部		全学科
	情報科学 教育課程	全コース	情報		機械工学科	機械
表現情報処理コース		情報(表現)	応用化学工学科		応化	
数理情報コース		情報(数情)	社会建設工学科		社建	
健康科学 教育課程	全コース	健康	電気電子工学科		電気	
	スポーツ健康科学コース	健康(スポ健)	知能情報システム工学科		知能	
	生活健康科学コース	健康(生活)	機能材料工学科		機材	
総合文化 教育課程	全コース	総文	感性デザイン工学科		感性	
	国際文化コース	総文(国際)	農学部		全学科	農
	文芸・芸能コース	総文(文芸)			生物資源環境科学科	生資
この共通教育時間割における対象学生の学部等の表記については、対応する略表記により表示されています。				生物機能科学科	生機	
				獣医学科	獣医	

教育学部学校教育教員養成課程教科教育コースについては、所属する選修ごとに、略表記により表示されている授業科目がありますので、留意してください。

《略表記例》 国語教育選修：学教(教科(国))，保健体育選修：学教(教科(保))

学 部													
学科・課程													
学 籍 番 号				-						-			
氏 名													

平成 1 7 年 度
共 通 教 育 履 修 案 内
〔 2 年 次 以 上 の 学 生 用 〕

編 集 発 行 : 山 口 大 学 大 学 教 育 セ ン タ ー
〒 7 5 3 - 8 5 1 1 山 口 市 大 字 吉 田 1 6 7 7 - 1
TEL 0 8 3 - 9 3 3 - 5 0 5 0